

住み続けられる近江富士団地のため みなさんと力を合わせます



近江富士団地在住

日本共産党

男性現職(41歳)

バスを守りました みなさんと力合わせ公約実現

みなさんに公約した団地に入るバスを守るため、議会でも繰り返し取り上げました。バスを生かそう市民の会の方とともに関係者との交渉もおこないました。この結果、団地に乗り入れている市営の「おのりやす」、滋賀交通バスの増便、土曜運行などの改善をとりくみ、実現できました。



さらに挑戦します

高齢化の進む近江富士団地で、安心して住み続けるため、みなさんと力を合わせます。

利便性の高いバス路線へ

今、車を運転できている人も、将来はバス利用になります。引き続き、利便性を高め、新病院への直通バスの確保にも、がんばります。

買い物の不便さの問題

団地では生鮮食品の買い物は、野洲駅周辺までいかなければなりません。私は、問題解決のため、市内の業者に、サポートサービスの実施を求めました。買い物の不自由さの解消のため、引き続き、団地のみなさんとも力を合わせ、知恵をつくり、問題に挑戦します。

老後も近くで暮らせるように

野洲市でも特養ホームの待機者が増え続けています。デイサービスセンター、グループホームの充実で、団地で安心してくらしらせるよう、みなさんと力を合わせてがんばります。

住宅リフォーム助成

共産党が求めている「住宅リフォーム助成制度」は、家屋のバリアフリー（段差解消）工事などに市が助成金を出すものです。市内業者の仕事も増やし、一石二鳥の制度で滋賀県下でも、大津市、日野町、甲賀市で、大きな成果をあげています。

若者の仕事確保、子育て支援などは、すでにお配りしている政策をお読みください。

やす民報

2013年10月号外*日本共産党の活動を紹介します
発行 日本共産党野洲市委員会 電話 589 4971

団地のバス路線を守っていただき、助かりました。車を持たない人、体の不自由な私たちにはなくてはならない移動手段です。引き続き、地域のためにがんばっていただきたい。
(団地・60歳・女性)

